

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年12月20日 (2018.12.20)

【公開番号】特開2017-133641 (P2017-133641A)
 【公開日】平成29年8月3日 (2017.8.3)
 【年通号数】公開・登録公報2017-029
 【出願番号】特願2016-15507 (P2016-15507)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 11/07 (2006.01)

F 1 6 K 31/04 (2006.01)

F 2 5 B 41/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 11/07 L

F 1 6 K 31/04 A

F 2 5 B 41/04 B

【手続補正書】
 【提出日】平成30年11月5日 (2018.11.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 9 9】

また、弁軸 2 0 を構成する推力伝達軸 2 7 の中間胴部 2 7 b が若干長く形成されるとともに、推力伝達軸 2 7 (の小径下部 2 7 c) に連結される連結軸 2 9 には、軸線 O 方向に離間して短円柱状の 2 つの弁体 (第 1 弁体 2 1、第 2 弁体 2 2) が一体的に形成されている。各弁体 (第 1 弁体 2 1、第 2 弁体 2 2) は、内側ハウジング 9 A に開口せしめられた 2 個の内側ポート p 1、p 2 の穴径とほぼ同じ距離だけ離間して、言い換えれば、各弁体間に、内側ハウジング 9 A に開口せしめられた 2 個の内側ポート p 1、p 2 のうちの一方に連通される大きさの空間を画成するように、前記連結軸 2 9 に配設されている。また、第 1 弁体 2 1 は、弁軸 2 0 が下降位置にあるときにおいて 2 つの内側ポート p 1、p 2 の間かつ弁軸 2 0 が上昇位置にあるときにおいて内側ポート p 1 と連通ポート p 1 1 との間に位置するように連結軸 2 9 に配設され、第 2 弁体 2 2 は、弁軸 2 0 が下降位置にあるときにおいて内側ポート p 2 と連通ポート p 1 2 との間かつ弁軸 2 0 が上昇位置にあるときにおいて 2 つの内側ポート p 1、p 2 の間に位置するように連結軸 2 9 に配設されている。